

# 2023年度第2四半期決算 説明資料

---



このまち思いエネルギー。

広島ガス

1. 2023年度第2四半期 決算実績
2. 広島ガスグループ中期経営計画
3. トピックス

# 1. 2023年度第2四半期 決算実績

---



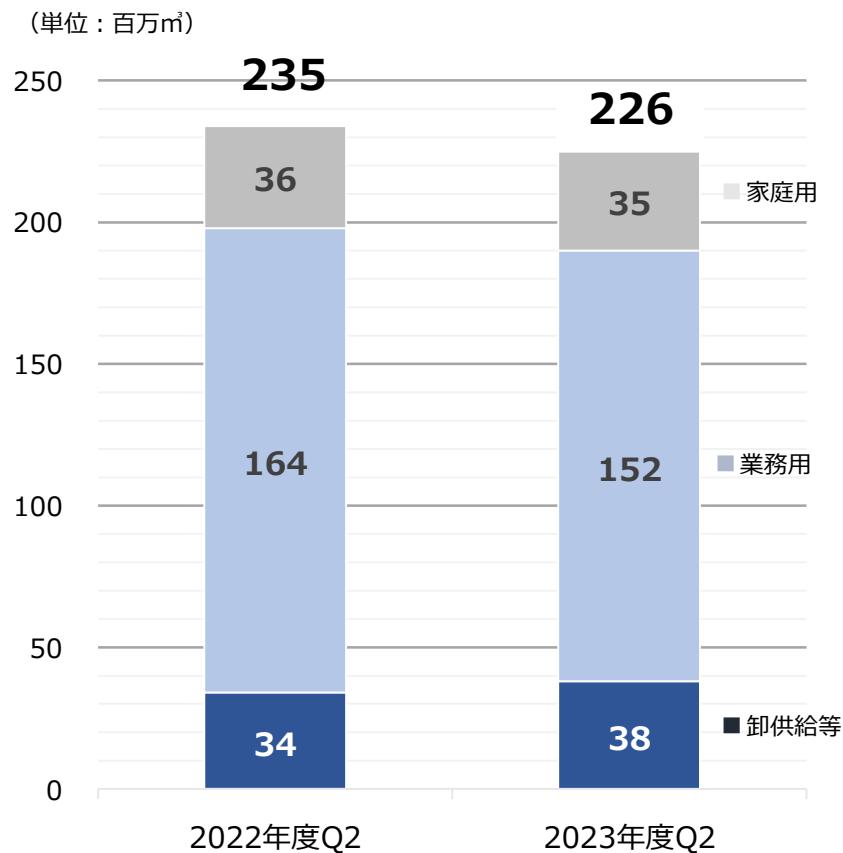
- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 経営成績
- (3) セグメント情報
- (4) 経常利益の変動要因
- (5) 財政状態
- (6) 2023年度 業績予想
- (7) 株主還元方針

# (1) 都市ガス販売量実績



都市ガス販売量

226百万m<sup>3</sup> [前期比: ▲8百万m<sup>3</sup> (▲3.7%)]



《家庭用》 ▲0.9百万m<sup>3</sup> (▲2.5%)

- 節ガス意識の継続 等

《業務用》 ▲11百万m<sup>3</sup> (▲7.1%)

- 既存大口需要家への販売量の減少 等

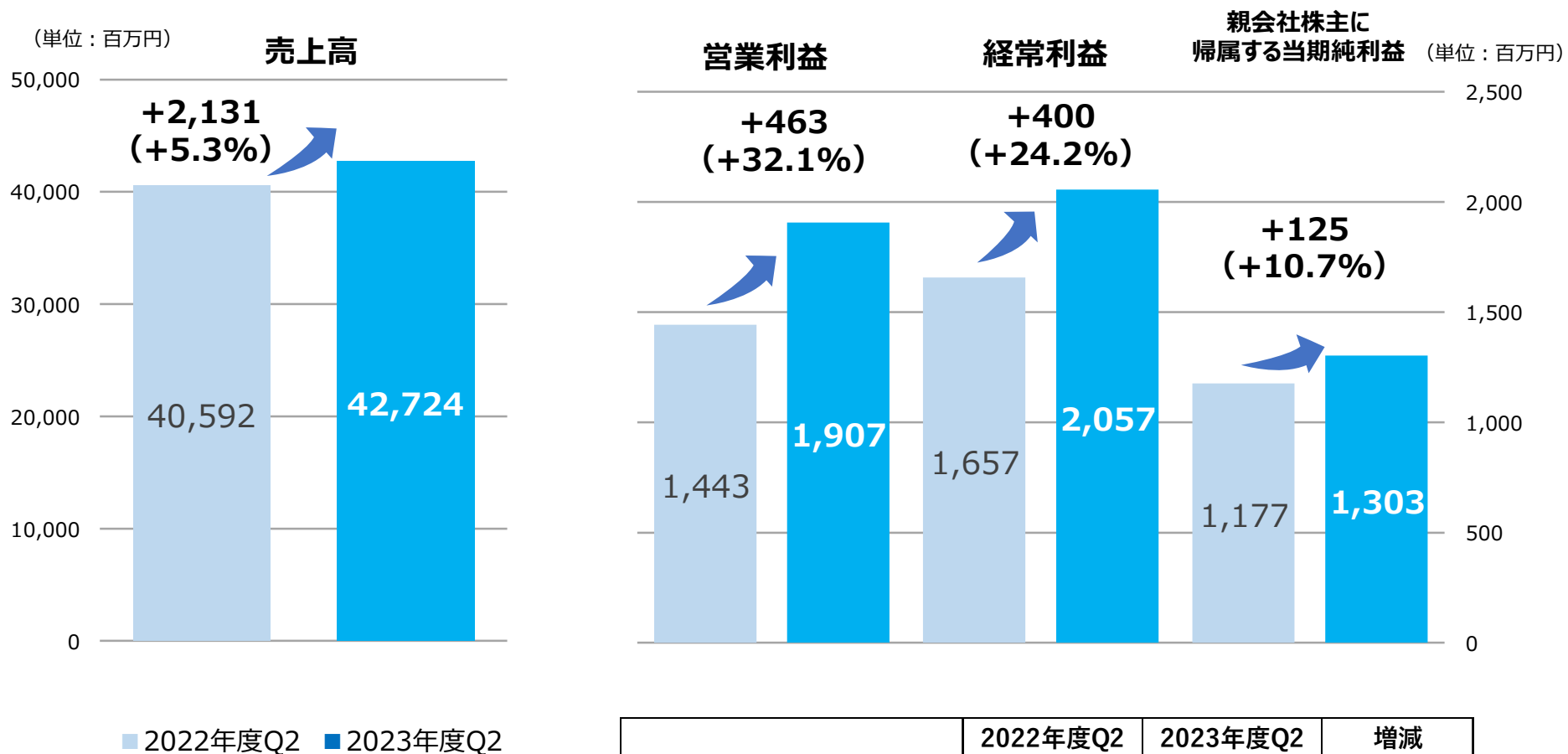
《卸供給等》 +3百万m<sup>3</sup> (+11.0%)

- 卸供給先の需要家への販売量の増加 等

## (2) 経営成績



### ■ 2期連続の増収、経常利益は5期連続の増益



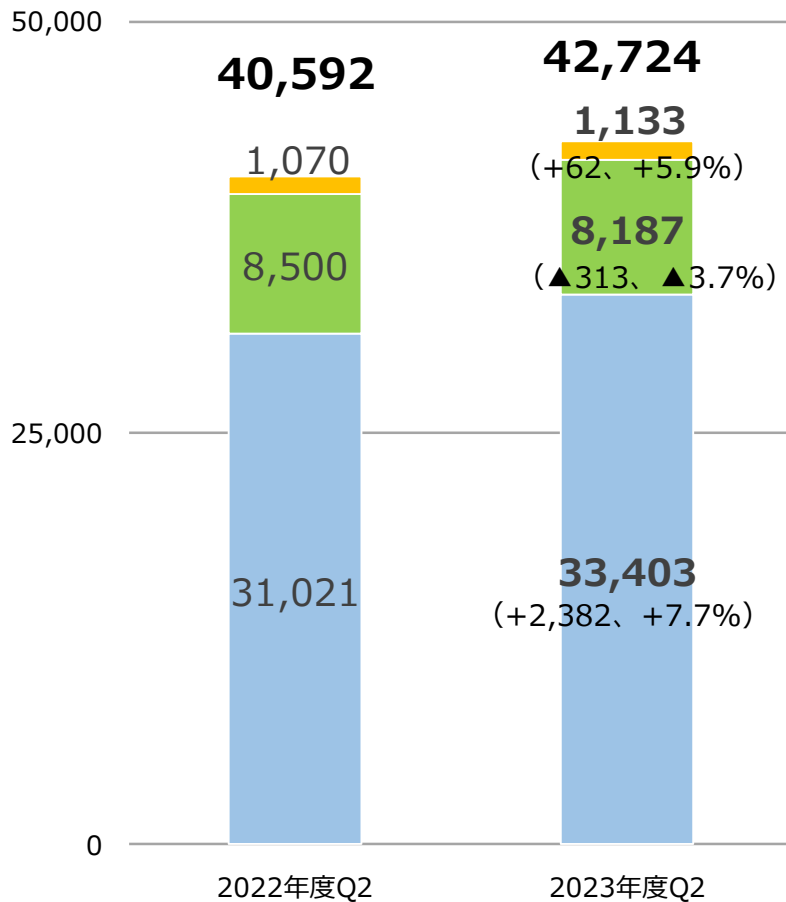
	2022年度Q2	2023年度Q2	増減
原油価格 JCC (\$/bbl)	112	83	▲28
為替レート (円/\$)	133	141	7

(注) JCC(=Japan Crude Cocktail) : 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格

# (3) セグメント情報

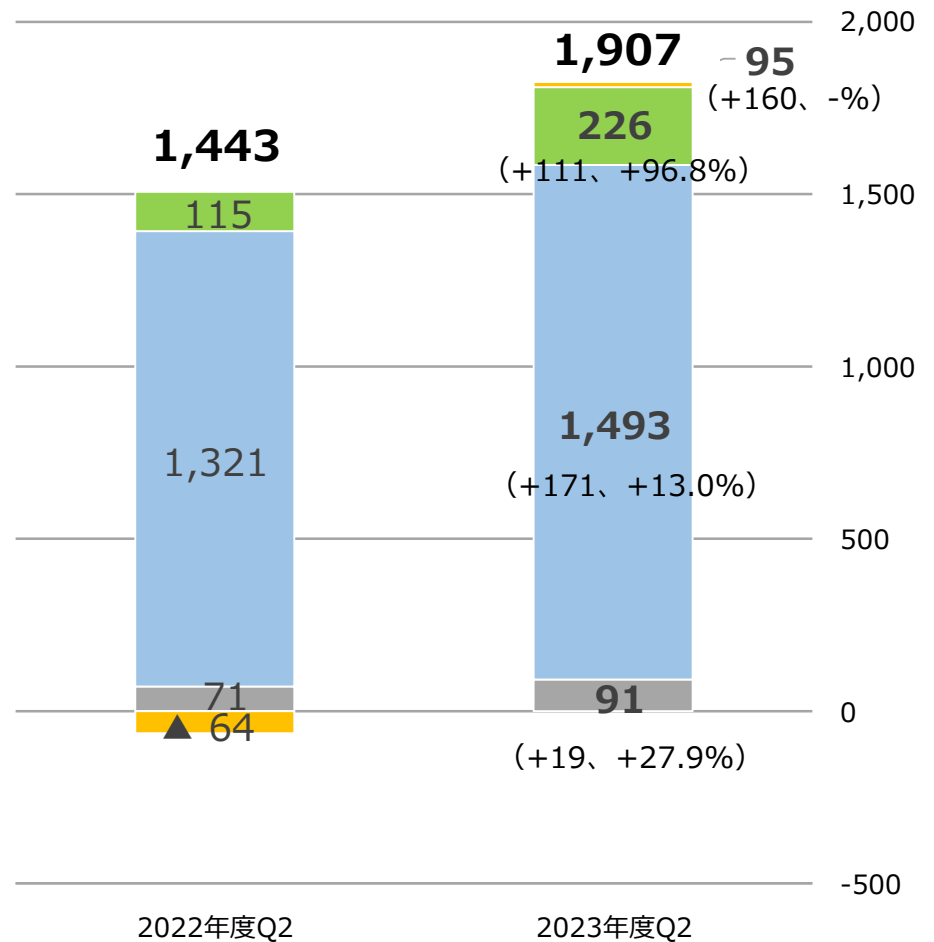


(単位：百万円) 売上高 (セグメント別) ※



営業利益 (セグメント別)

(単位：百万円)



※外部顧客に対する売上高

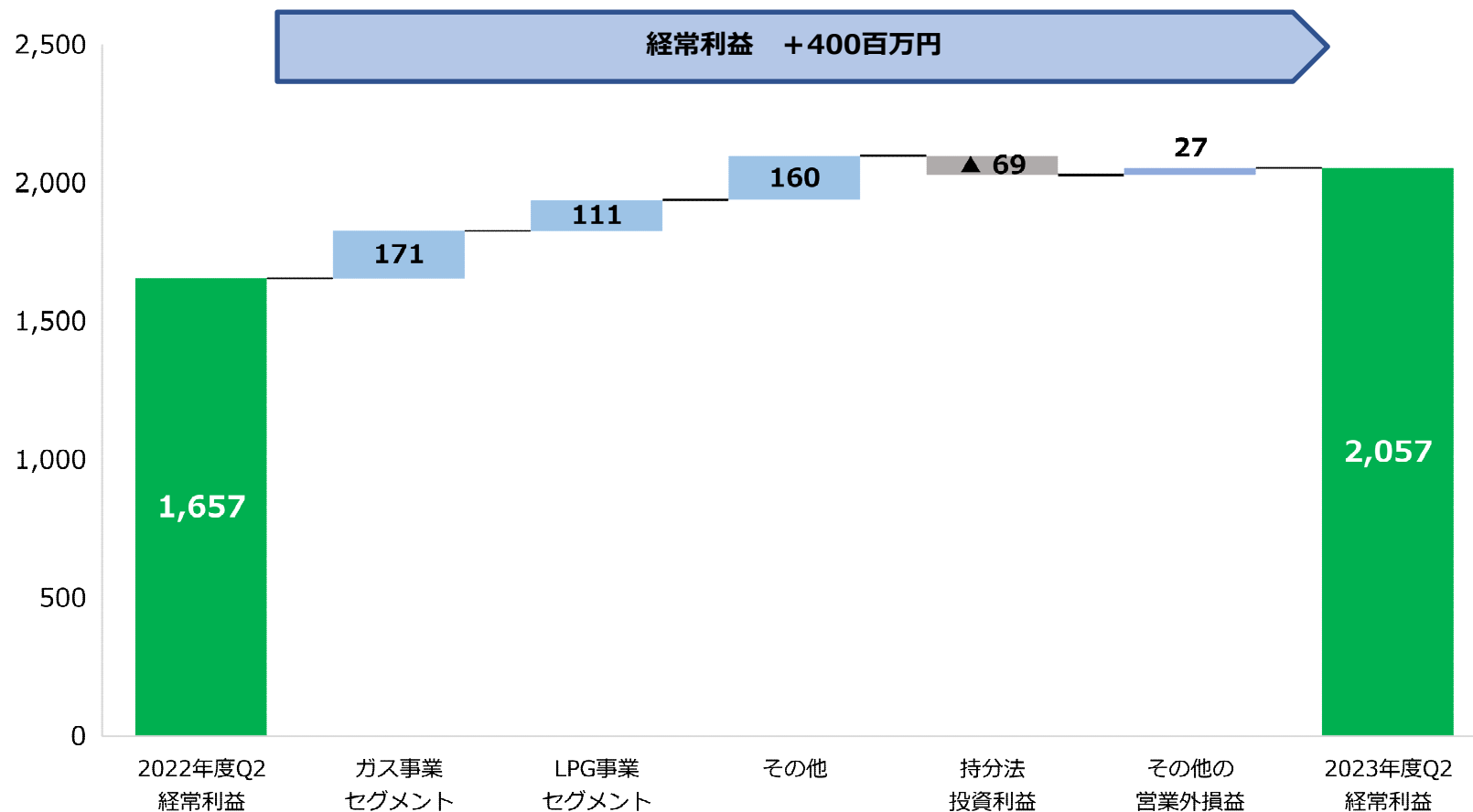
■ ガス事業 ■ LPG事業 ■ その他 ■ 調整額 ( ) 前期比

# (4) 経常利益の変動要因



- ガス事業、LPG事業、その他事業のいずれも増益となり、経常利益は前期に比較して増益

(単位：百万円)



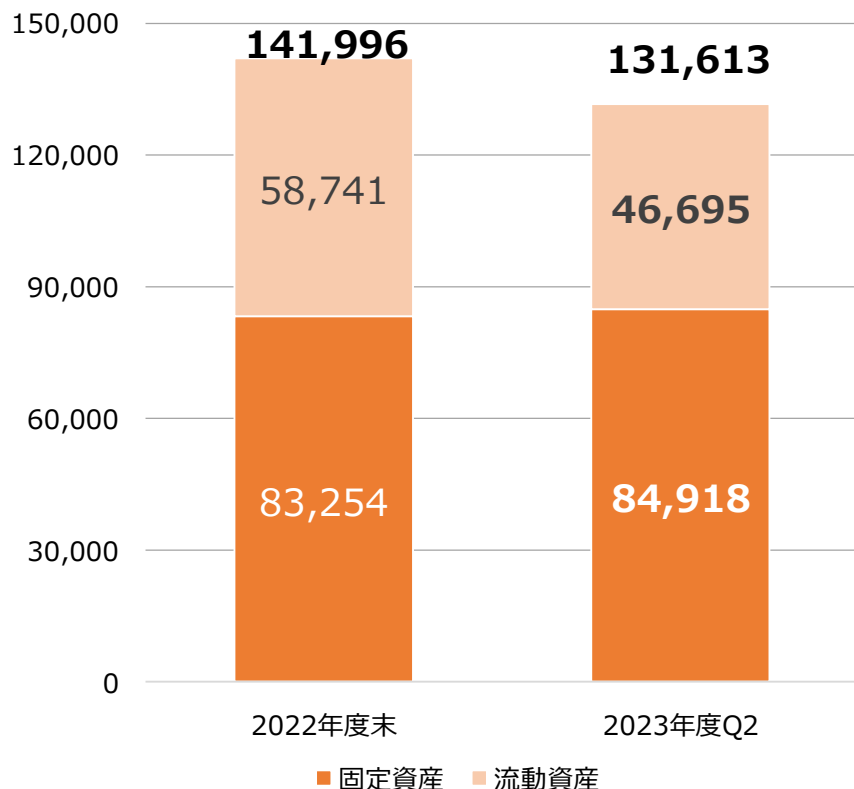
# (5) 財政状態(貸借対照表)



- 総資産: 対前期末比 ▲10,382百万円(▲7.3%)
- 負債: 対前期末比 ▲12,214百万円(▲16.5%)
- 純資産: 対前期末比 + 1,832百万円(+2.7%)
- 自己資本比率 45.5% ⇒ 50.3%(+4.8ポイント)

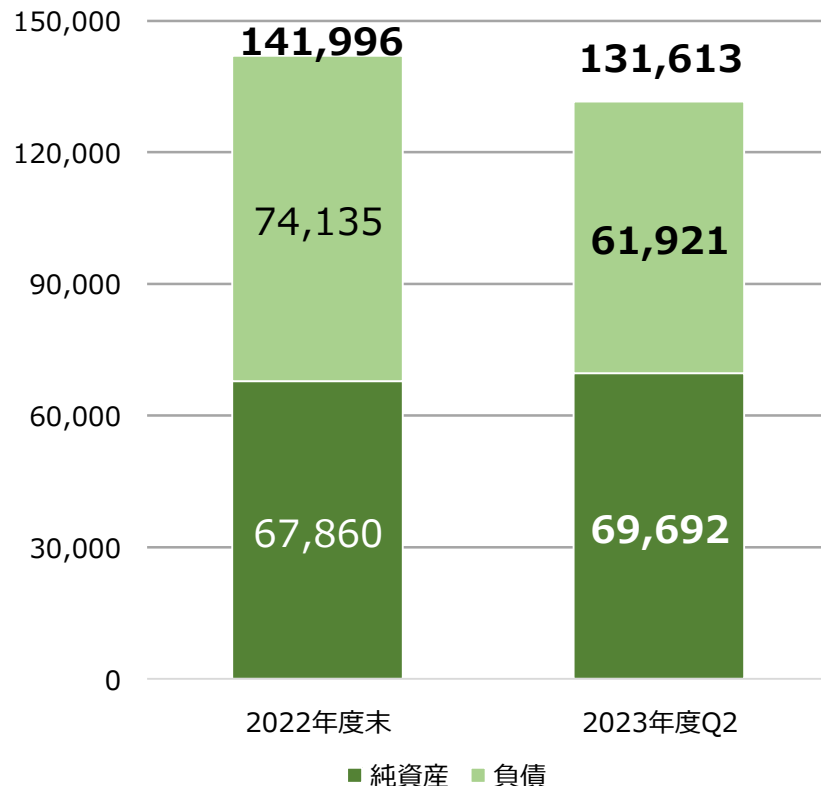
(単位: 百万円)

### 総資産



(単位: 百万円)

### 負債純資産



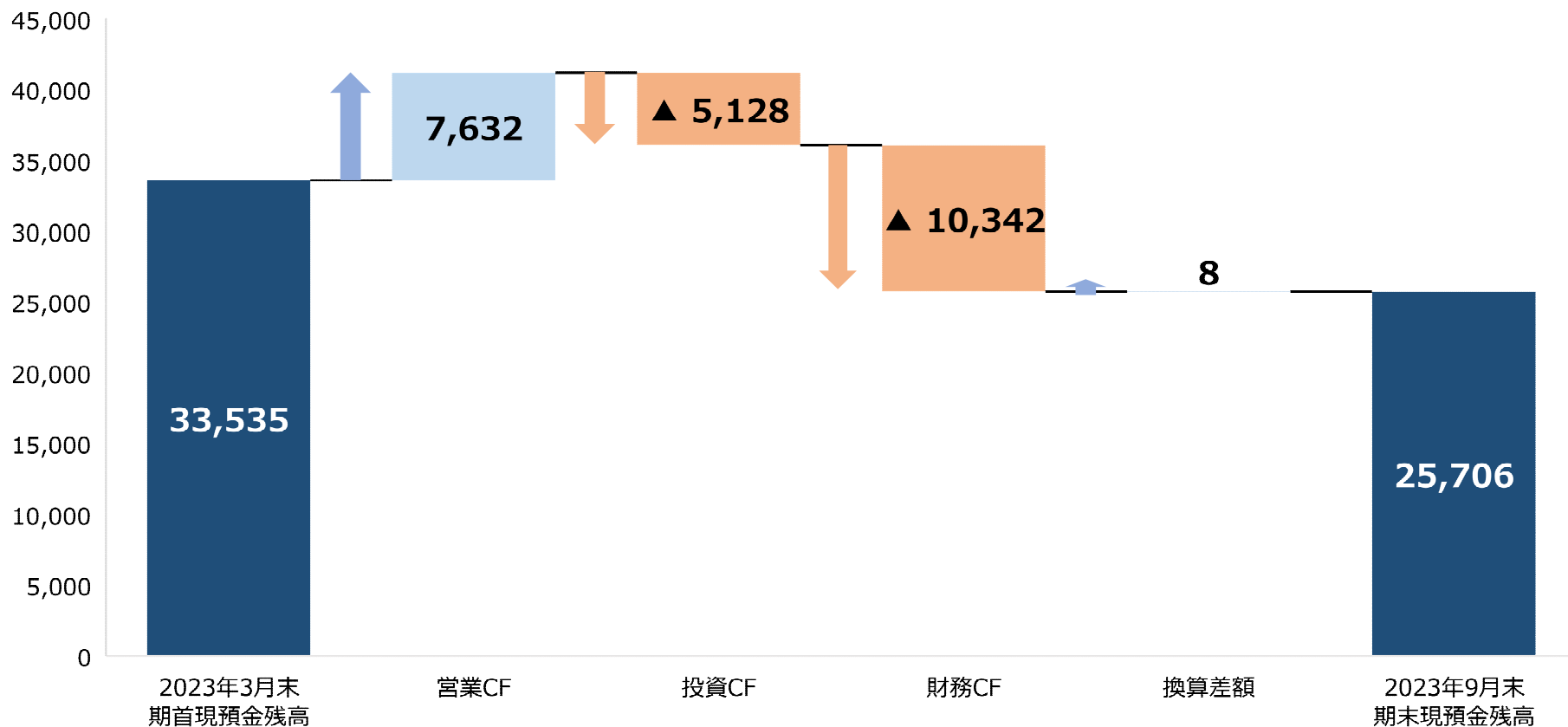


# (5) 財政状態(キャッシュ・フロー)



■ 現金及び現金同等物増減額 ▲7,829百万円

(単位：百万円)



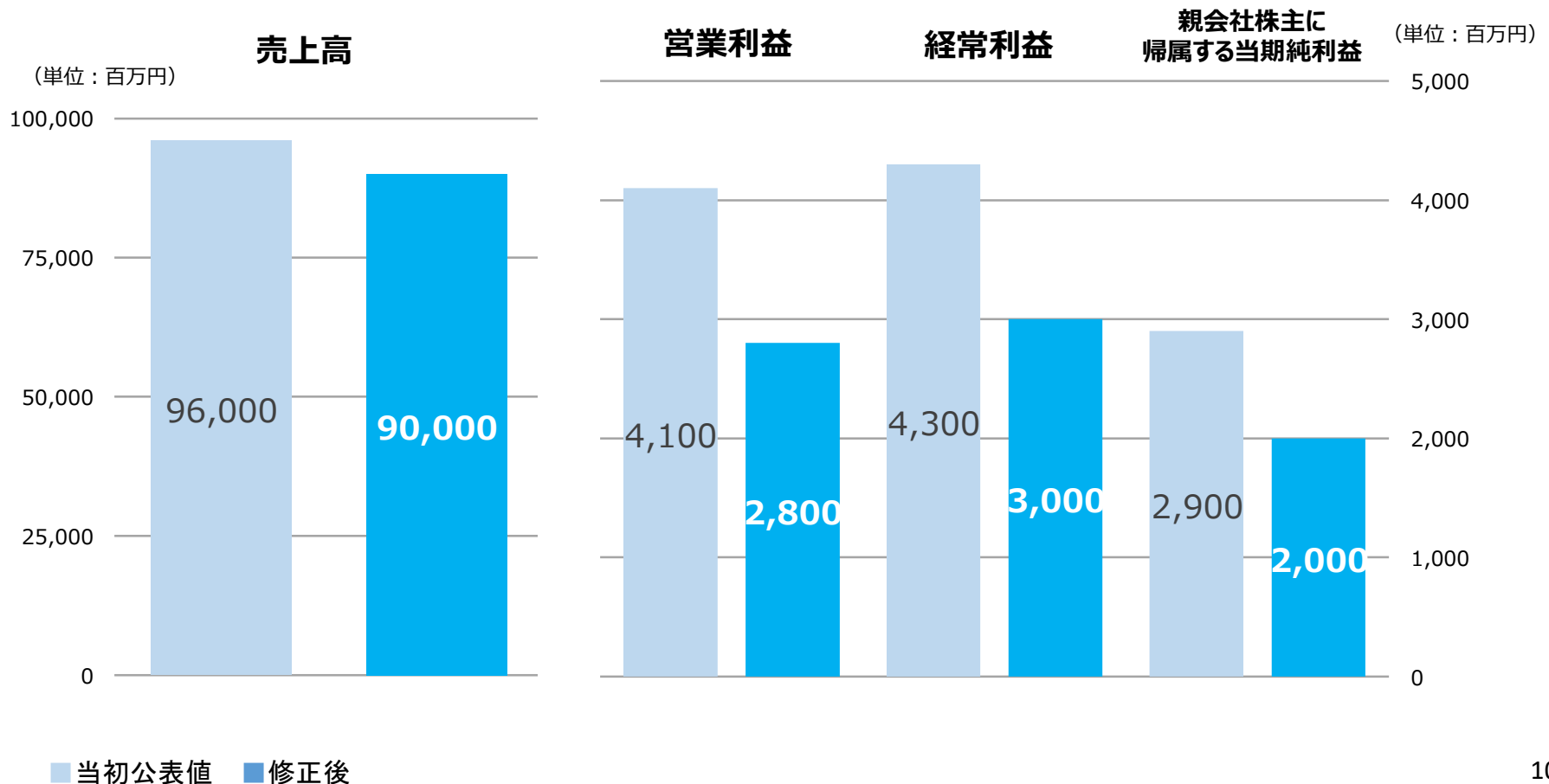
	2022年度Q2	2023年度Q2	増減
設備投資額	3,040	4,570	1,530
減価償却額	3,556	3,552	▲3

# (6) 2023年度 業績予想(2023年11月2日 修正)

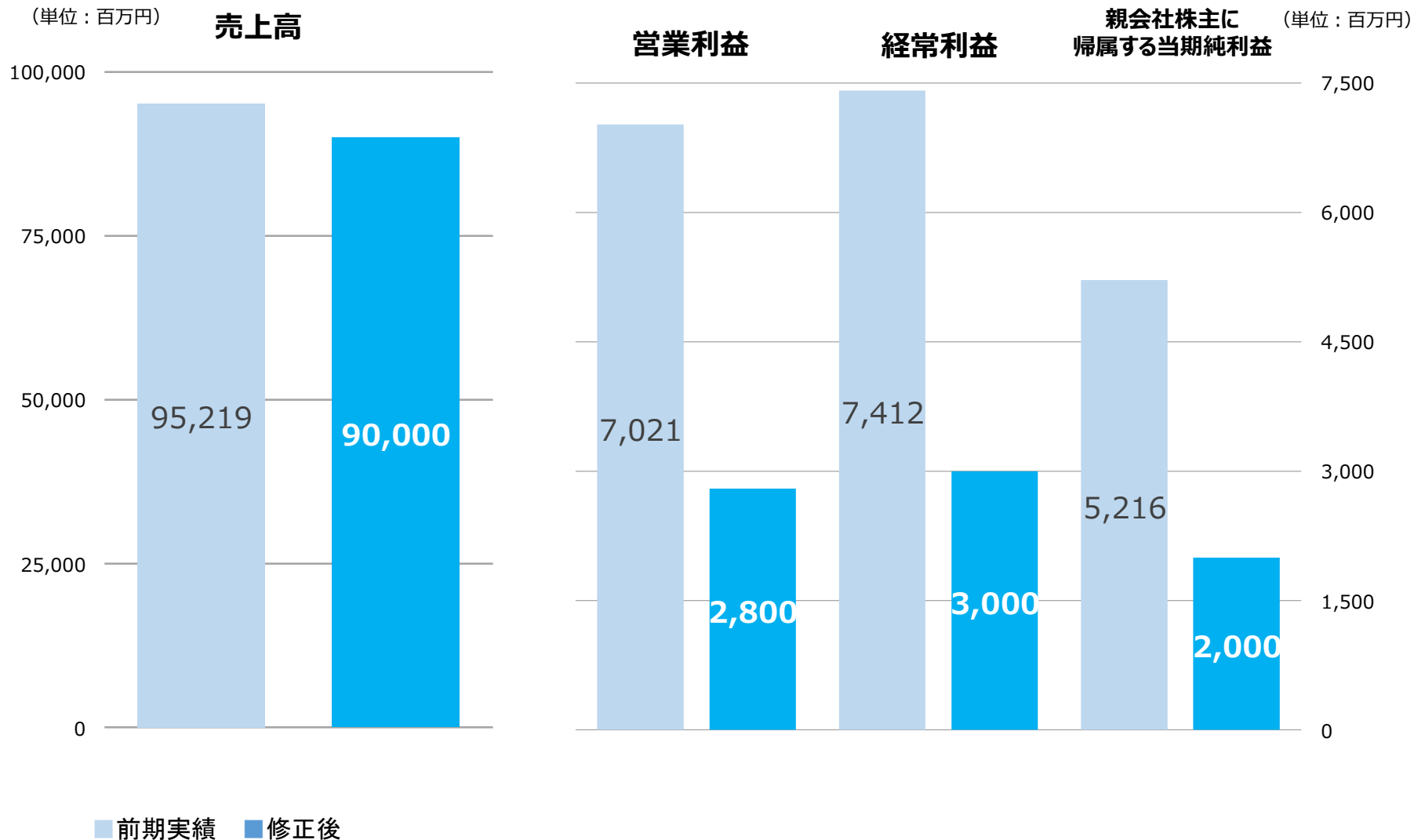


## 《前提条件》

- 原油価格JCC(\$/bbl) : 90 ⇒ 90 (維持)
- 為替レート(円/\$) : 135 ⇒ 145
- 都市ガス販売量(百万m<sup>3</sup>) : 492 ⇒ 484



# (6) 2023年度 業績予想(対 前期実績)



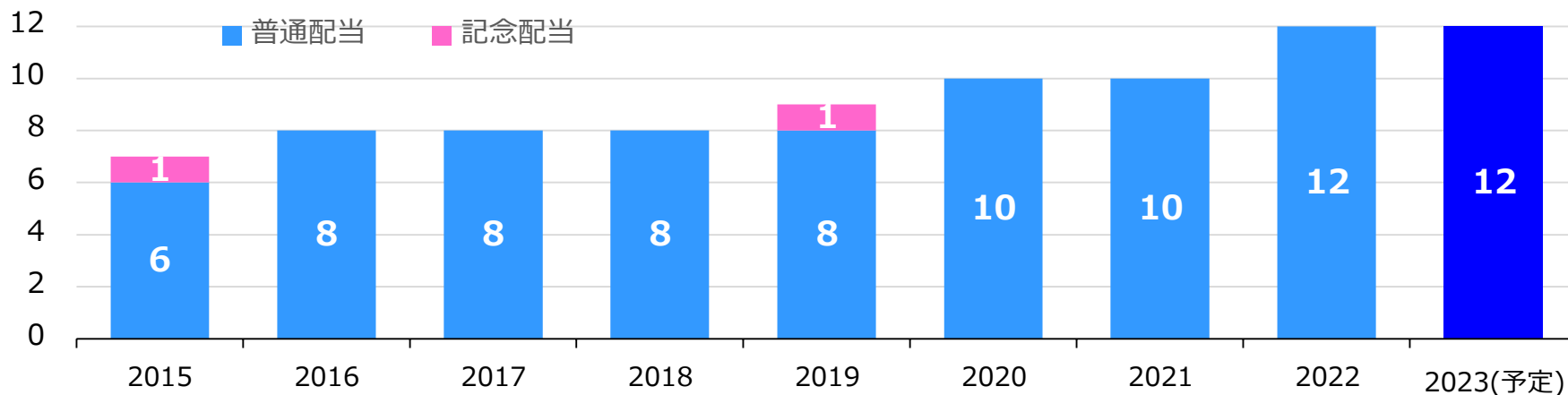
# (7) 株主還元方針



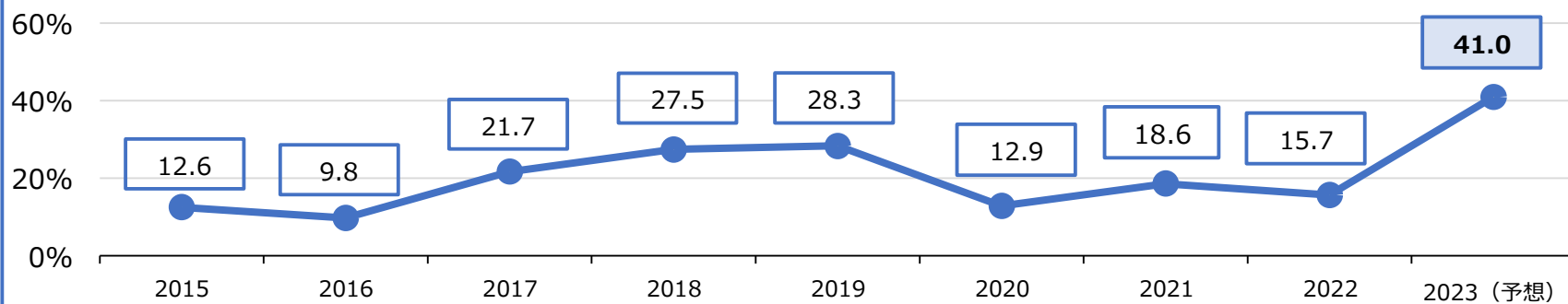
- 配当の実施にあたっては、安定的・継続的に配当を行う基本方針のもと、短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を目指していく。
- 2022年度は2円増配、2023年度も同水準(年間12円)を維持予定

(単位：円)

### 1株当たり年間配当金



### 配当性向推移



## 2. 広島ガスグループ中期経営計画

---

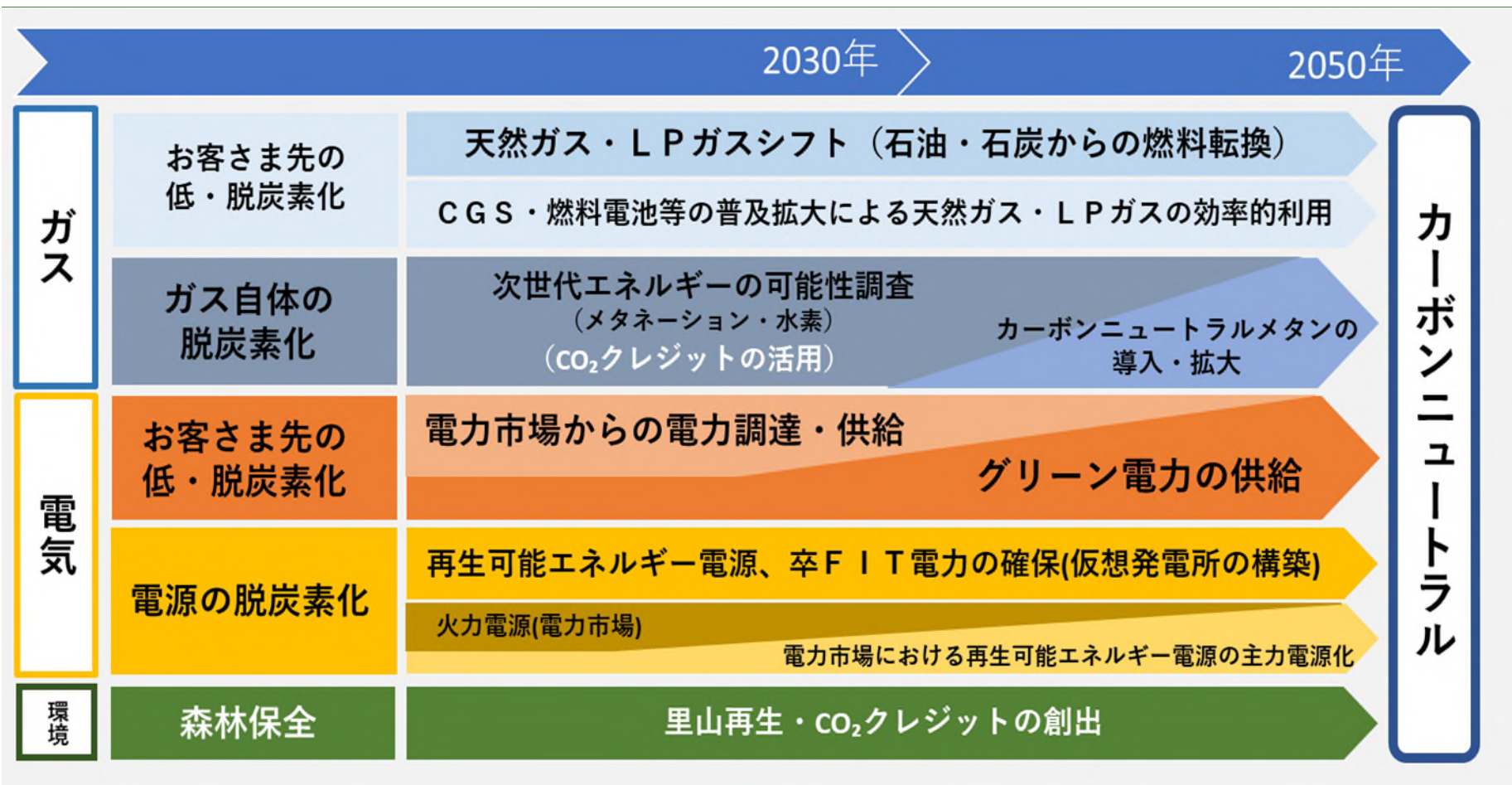


- (1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み
- (2) 2023年度中期経営計画のポイント
- (3) カーボンニュートラルに向けた取り組み状況
- (4) ガス需給・設備投資計画

# (1) 2050年カーボンニュートラルに向けた取り組み



- トランジション期においては、天然ガス・LPガスシフトの推進が中心
- メタネーションや水素・アンモニアの活用による「ガス自体の脱炭素化」に取り組む
- 電気分野では、再生可能エネルギー電源の開発がポイント



カーボンニュートラル

## (2) 2023年度中期経営計画のポイント



2050年カーボンニュートラル



2030ビジョン目標



### 2023年度中計

①都市ガス・LPG事業の「深化」

②イノベーションの「創出」

燃料転換を中心としたガス拡販

e-methane(合成メタン)等の活用

再生可能エネルギー電源の開発

価値創造に向けて成長原資を再分配

③経営基盤の「強化」

全体最適・DX

# (3) カーボンニュートラルに向けた取り組み状況



## ガス

- 徹底した天然ガスシフト・LPガスシフトおよび効率的利用により、CO<sub>2</sub>削減を実現
- 将来的には、カーボンニュートラルメタンの導入・拡大によるガス自体の脱炭素化に挑戦

### 具体的な取り組み

- 石炭・石油利用大口需要家に向けて、都市ガス・L Pガス転換の更なる積極的提案
- 2022年9月 広島大学とカーボンニュートラル実現に資する共同研究を開始

## 電気

- 小水力、太陽光、CO<sub>2</sub>の少ないコジェネ電源を軸とした電力の供給
- 再生可能エネルギー電源による電源の脱炭素化、グリーン電力の供給に挑戦

### 具体的な取り組み

- 2022年 1月 小売電気事業者登録を完了
- 2022年 4月 グループ関連施設へのグリーン電力の供給から事業開始
- 2023年10月 住友重機械工業株式会社とLAES商用実証プラント建設開始
- 2023年10月 廿日市市における特定送配電事業の小売電気事業者登録
- 2024年 1月 グリーン電力の一般販売 申込受付開始（予定）

## 環境

- 林野庁や地域の森林組合などと連携して、森林保全とCO<sub>2</sub>の吸収・貯蔵に貢献

### 具体的な取り組み

- 2021年4月 県内産木質燃料を海田バイオマスパワー(株)で利用開始
- 2023年2月 北海道日高郡における森林保全事業 施業開始
- 2023年3月 神石高原町石屋山における分収造林事業 契約締結



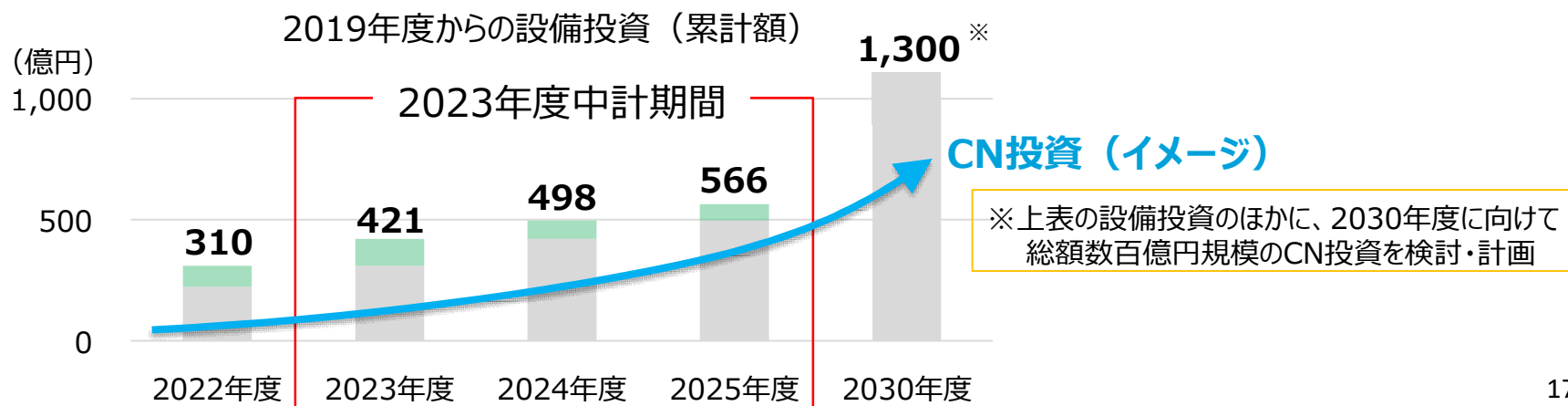
# (4) ガス需給・設備投資計画



需給計画		2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)
都市ガス (百万m <sup>3</sup> )	家庭用/ 業務工業用	424	420	408	414
	卸供給等*	88	88	99	85
LPG (千t)		80	86	90	93

\* 液売り・CNGを含む

広島ガスグループ <sup>o</sup> 設備投資	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)	2024年度 (計画)	2025年度 (計画)
設備投資合計額 (内、CN投資)	86億円 (11億円)	111億円 (38億円)	76億円 (15億円)	68億円 (10億円)



### 3. トピックス

---



- (1) GXリーグ参画
- (2) 一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO<sub>2</sub>削減事業
- (3) 住友重機械工業株式会社と  
LAES商用実証の共同実施
- (4) 「ガス展2023」の開催
- (5) グリーン電力の供給拡大

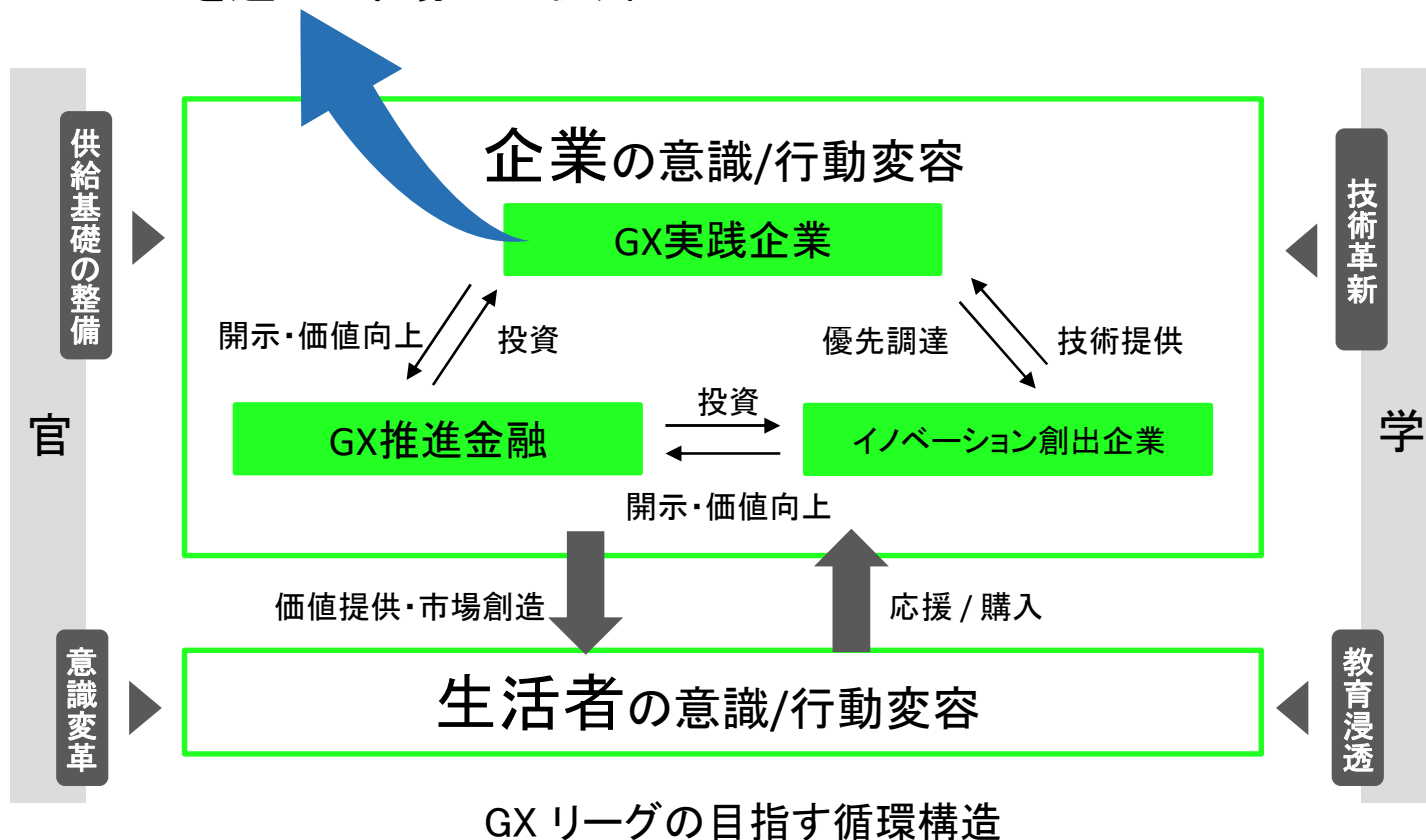
# (1) GXリーグ参画

## GXリーグに参画し、2050年CNに向けた取り組みを加速

### <参画企業に求められる取り組み>

- 自らの排出削減の取り組み(排出目標の設定)
- サプライチェーンの炭素中立に向けた取り組み
- 製品・サービスを通じた市場での取り組み

2050年CNに向けた  
取り組みを加速



# (2)一般住宅への家庭用燃料電池エネファームの導入促進によるCO<sub>2</sub>削減事業

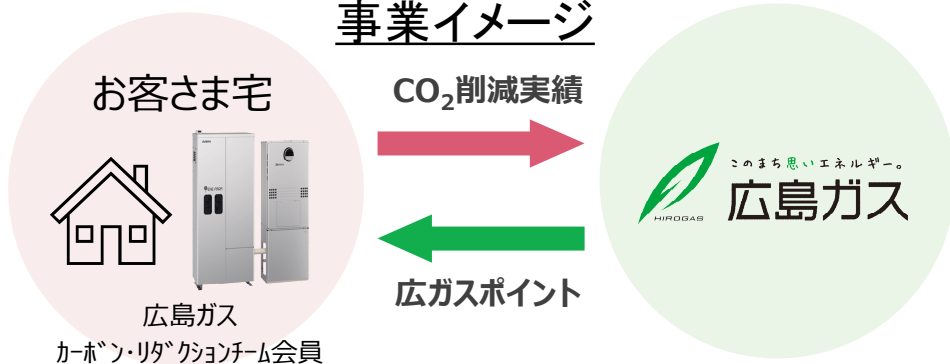


## 2023年4月より事業開始、会員数は着実に増加

### 事業概要

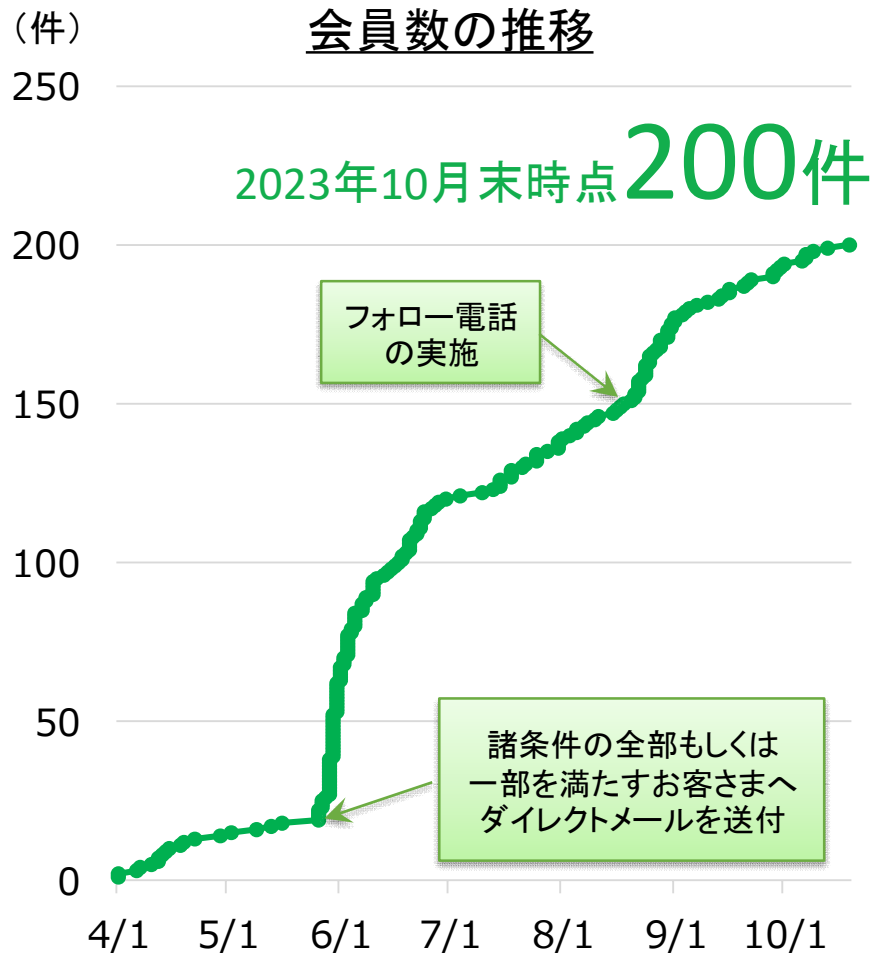
- 環境性に優れたエネファームにより、削減されたCO<sub>2</sub>(環境価値)を、当社が譲り受け、対価として広ガスポイントを付与する事業

### 事業イメージ



- ※ 本事業は、国が運営する「J-クレジット制度」のプロジェクトとして登録されています。
- ※ 対象は2021年4月以降に新たに設置したアイシン製エネファームなど、諸条件があります。詳細は当社リリース(2023年3月1日)をご参照ください。

### 会員数の推移



# (3) 住友重機械工業株式会社とLAES商用実証の共同実施



## 「LAES※1商用実証プラント」の建設工事開始

- 10月19日広島ガス廿日市工場内において安全祈願祭および起工式を実施※2
- 2025年の運転開始に向けて工事開始



### LAES商用実証の概要



※1 LAES (Liquid Air Energy Storage)

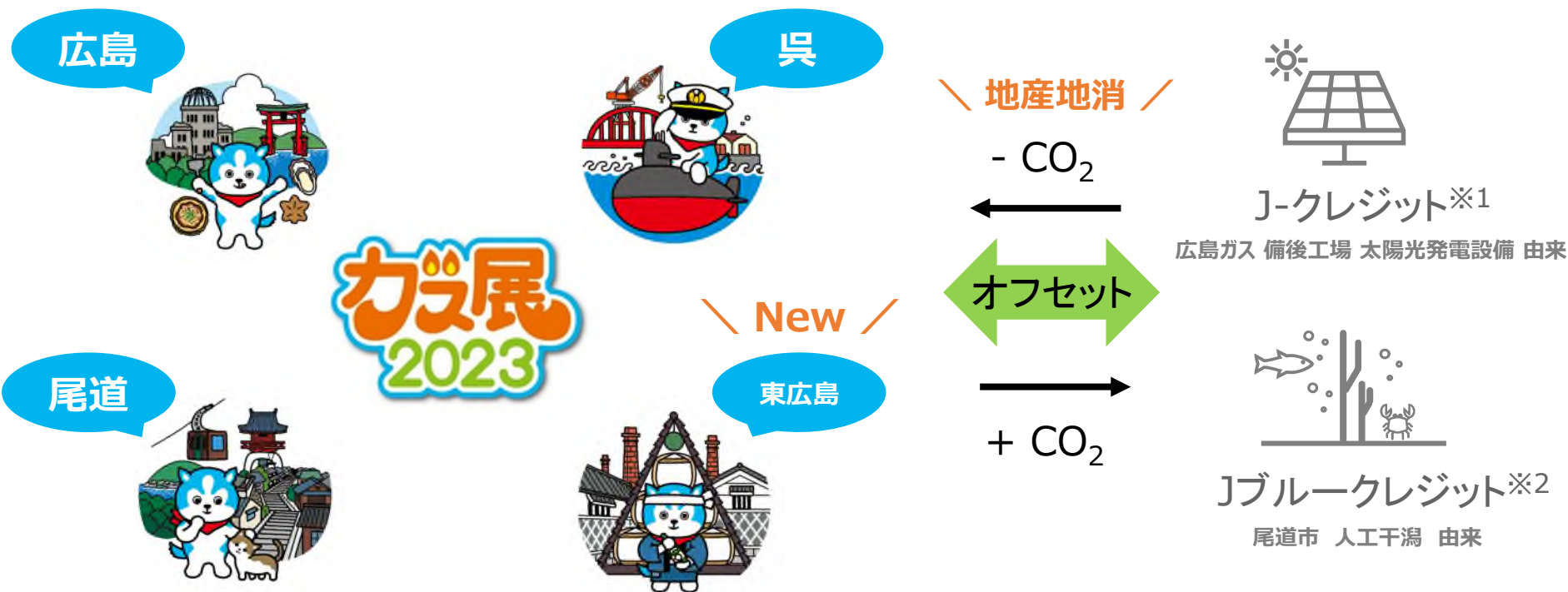
液体空気の形で電力エネルギーを貯蔵し、必要な時に取り出す技術。太陽光や風力等の再生可能エネルギーの余剰電力を活用して充電し、電力需要の高いタイミングに放電をすることで、脱炭素および電力需給の安定化に寄与。

※2 設備オーナーである住友重機械工業株式会社が主催

# (4) 「ガス展2023」の開催



2019年以来、4年ぶりとなる「ガス展」を開催  
ガス展で排出されるCO<sub>2</sub>を各種クレジットでオフセット



※1 「J-クレジット制度」とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO<sub>2</sub>等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO<sub>2</sub>等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

※2 「Jブルークレジット」とは、海草(アマモ等)や海藻、植物プランクトンなど、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素である「ブルーカーボン」を対象として、ジャパブルーエコノミー技術研究組合(以下「JBE」)から独立した第三者委員会による審査・認証意見を経て、JBEが発行・管理する独自のクレジット制度です。

# (5) グリーン電力の供給拡大



一般のお客さまへのグリーン電力販売開始に向け準備中

## グリーン電力



電力



環境価値

準備中

＼ New ／

当社グループのお客さま

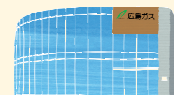


このまち思いエネルギー。  
広島ガスグループ

※2024年1月からの申し込み受付に  
向け準備中

供給中

当社グループ拠点



※2022年4月より供給中



本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



# (ご参考) 会社概要



- お客さま件数 41万7千件 (2023年3月31日現在)
- 都市ガス供給区域 広島県内の7市4町
- 広島県東部地区にて福山ガスに卸供給
  
- 東京証券取引所プライム市場に上場(2022年4月4日)
- 証券コード 9535
- 単元株式数 100株
- 発行済株式総数 68,373,036株 (2023年3月31日現在)



## 供給区域と体制



# (ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
売上高	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842	82,268	73,250	76,802	95,219
営業利益	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926	2,971	3,293	3,207	7,021
経常利益	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509	3,454	3,467	4,616	7,412
当期純利益(※1)	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971	2,153	5,272	3,662	5,216
減価償却費	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349	7,344	7,360	7,422	7,312
営業キャッシュフロー(※2)	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320	9,564	12,732	11,270	12,529
設備投資額	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377	6,735	7,147	8,512	8,618
フリーキャッシュフロー(※3)	-3,004	4	887	2,045	1,918	1,942	2,829	5,584	2,757	3,910
総資産	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717	104,935	107,139	115,477	123,802	141,996
自己資本(資本)	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019	49,274	56,769	61,867	64,539
有利子負債	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293	38,616	40,074	45,397	59,772
EBITDA	9,342	11,036	12,567	10,670	10,190	9,275	10,315	10,654	10,630	14,334
ROA(%) (※4)	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9	2.0	4.7	3.1	3.9
ROE(%) (※4)	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1	4.4	9.9	6.2	8.3
自己資本比率(%)	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8	46.0	49.2	50.0	45.5
EPS(円)	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1	31.8	77.5	53.7	76.4
BPS(円)	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2	709.0	725.8	833.4	906.6	944.0
配当性向(%)	18.0	17.3	12.6	9.8	21.7	27.5	28.3	12.9	18.6	15.7
D/E レシオ	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9

※1 FY2015より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2016、FY2017、FY2019、FY2020、FY2021はキャッシュを伴わない特別損益を加減

＜FY2016＞債務免除益2,105百万円 ＜FY2017＞退職給付制度改定益449百万円＜FY2019＞投資有価証券評価損△66百万円

＜FY2020＞減損損失△98百万円 ＜FY2021＞減損損失△86百万円、投資有価証券評価損△98百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

# (ご参考)販売量データ



## 【ご参考】主要経営指標(過去10年)

		FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022
家庭用	販売量(百万m3)	103	103	100	99	104	98	97	103	103	95
	対前年比(%)	-2.2	0.7	-3.5	-0.9	4.8	-5.2	-1.5	6.9	-0.4	-7.6
商業用	販売量(百万m3)	47	45	43	44	45	43	43	35	35	37
	対前年比(%)	-1.1	-4.9	-3.3	1.9	2.5	-4.0	-1.3	-18.3	0.9	3.6
工業用	販売量(百万m3)	258	242	242	255	271	326	313	304	298	255
	対前年比(%)	-1.3	-6.4	-0.0	5.4	6.3	20.3	-3.9	-3.0	-1.8	-14.5
その他用	販売量(百万m3)	38	37	36	38	38	36	35	35	35	35
	対前年比(%)	2.7	-4.2	-2.7	5.8	1.5	-5.6	-3.7	1.5	-0.7	0.7
卸供給	販売量(百万m3)	61	62	60	56	58	77	106	90	92	76
	対前年比(%)	1.9	2.7	-3.9	-5.9	3.6	30.9	38.1	-15.3	2.3	-17.5
合計	販売量(百万m3)	509	491	483	494	519	583	596	569	566	500
	対前年比(%)	-0.8	-3.5	-1.8	2.4	5.0	12.3	2.3	-4.4	-0.6	-11.7